

News Release

株式会社特研工業 現経営陣が設立した SPC への承継 (MBO)

— 地域中核企業の独立性・持続的成長を支えるマネジメント・バイアウト —

AJ キャピタル株式会社

<https://www.ajcap.co.jp/>

株式会社あおぞら銀行（代表取締役社長兼最高経営責任者(CEO)：大見 秀人、本店：東京都千代田区）と、日本アジア投資株式会社（代表取締役社長執行役員 CEO：丸山 俊、本社：東京都千代田区）が共同設立したファンド運営会社である AJ キャピタル株式会社（代表取締役社長：小林 正行、本社：東京都千代田区、以下「当社」）は、無限責任組合員として運営する事業承継ファンド「サクセッショーン 1 号投資事業有限責任組合」（以下「当ファンド」）が投資する買収目的会社を通じて、株式会社特研工業（代表取締役社長：鋪倉健、本社：鳥取県米子市、以下「特研工業」）の全株式を、同社の現経営陣が新設した特別目的会社（SPC）へ譲渡し、MBO（マネジメント・バイアウト）による承継を完了しました。

本件は当ファンドにとって 7 件目（当社運営ファンドでは通算 10 件目）の投資先株式の譲渡/承継であり、また、初の MBO による承継事例となります。

特研工業は、道路工事・河川改修工事・砂防工事等の公共土木工事、公共・民間建築工事の外構工事等を手掛ける 1985 年創業の工事会社で、防衛省、鳥取県、米子市の入札参加資格等級は最上位の A ランクを獲得しております。数十社に及ぶ協力会社ネットワークを構築し高い施工能力を有していることから、官公庁からの信頼は厚く、鳥取県内で活動する大手ゼネコンや地場建設会社にとって重要な事業パートナーの地位を確立しております。当ファンドは、2022 年に創業オーナーの引退に伴う事業承継ニーズを背景に特研工業の全株式を譲り受け以来、経営体制の再構築、組織運営の高度化、内部管理体制の整備など、企業価値向上に向けた支援を行ってまいりました。

事業承継後、特研工業では、現経営陣が中心となり事業基盤の強化が順調に進み、組織マネジメントの刷新、明確な中期経営計画の策定、各種ワークフローの DX 化など、「自走できる体制」が整備されました。

こうした状況を踏まえ “経営陣自らがオーナーシップを持ち、企業の独立性を高めながら今後の成長を加速させたい” という経営陣の意向が高まってきましたことから、当社は、MBO が最適な承継手段であるとの結論に至りました。

今回の MBO では、現経営陣が、新設した SPC で全株式を取得し、引き続き事業運営を主導して長期的視点に基づく意思決定と投資が可能なガバナンス体制へ移行するという形で、特研工業の持続的成長と独立性強化を両立させる枠組みを整えています。

当社は全国の地域金融機関と連携し、従来のファンドではあまり投資対象として検討しなかった、企業価値で 10 億円未満のスマールキャップゾーンを投資ターゲットとする事業承継ファンドを運営しています。今後も、地域経済の核となる中小企業の事業承継を、ファンドを活用して支援し、円滑な事

業承継を推進することを通じて、地域創生や地域活性化に貢献し我が国経済の発展に貢献していく所存です。

<特研工業について>

商号	株式会社特研工業
所在地	鳥取県米子市永江 501 番地
代表取締役	鋪倉 健
創業	1985 年
資本金	21 百万円
事業内容	道路工事・河川改修工事・外構工事等の各種土木工事

<当社について>

名称	AJ キャピタル株式会社
所在地	東京都千代田神田三崎町 3-4-4
代表取締役社長	小林 正行
設立	2018 年 4 月
資本金	20 百万円 (含む資本準備金)
株主構成	あおぞら銀行 50%、日本アジア投資 50%

<当ファンドについて>

ファンド名称	サクセッション 1 号投資事業有限責任組合
所在地	東京都千代田神田三崎町 3-4-4
ファンド総額	30 億円
設立	2017 年 6 月
無限責任組合員	AJ キャピタル株式会社
有限責任組合員 (五十音順)	あおぞら銀行、愛媛銀行、F P G、きらやか銀行、東和銀行、鳥取銀行、富山銀行、日本アジア投資、北都銀行、宮崎太陽銀行、ゆうちょ銀行、他金融法人
主な投資対象	日本国内の事業承継問題を抱える中小企業

以 上